

矢沢たかお
川崎市議会議員 矢沢たかおニュース

Vol.03
2016Feb.~2016Apr.

30才

市議会一般質問の様子

宮前区から選出いただいております川崎市議会議員の矢沢孝雄（たかお）です。昨年の川崎市を少し振り返ってみると、良いニュースも悪いニュースも多くあった年でした。今年の本年が良いニュースで包まれる年であって欲しいと願います。

市政報告 Vol.3では、昨年11月26日から12月21日までの期間で行われていた市議会第5回定期例会における質問の内容及び、本議会での主な質疑等について紹介させていただきます。また、2~3月は私にとって初めての来年度予算審査を含む第1回定期例会です。本年も幅広い世代の方々にとって市政が身近に感じられるよう、積極的な情報発信に努めて参ります。

定例会での一般質問 3 項目

1 都市計画道路の進捗状況について

Q この度、市によって策定される「第2次道路整備プログラム」では、清水台交差点付近の横浜市境から北部市場までの約100メートルを整備する計画道路・横浜生田線（水沢工区）の開通については、着手・完成が平成33年までとなっています。この道路を整備することは、交通の円滑化、渋滞緩和は勿論、防災観点、救急搬送への貢献などさまざまな面で効果があると考えられ、早急な開通をめざして、現在の進捗状況と、今後の本市が考える具体的なスケジュールを伺いました。

A 昨年9月末に用地取得の為の測量が完了したところであり、今後については、横浜市側とも連携、調整を行なながら、平成28年度に「道路予備設計」を実施し、地域の方々のご意見を伺ながら「道路詳細設計」を実施していく予定。引き続き、未整備区間の早期開通を目指して横浜市側と密接に調整を図っていく。（※一部抜粋要約）

2 学校施設の課題について

Q 川崎市の小中学校施設は昭和40年代後半から50年代にかけて建設されたものが多く、建築後30年を経過するものが全校の過半数を占めており、学校施設の老朽化は深刻な問題です。現在、本市で取り組まれている長期保全計画では、老朽化した施設の改築を先延ばしする計画である為、いずれは来てしまう改築の集中を避ける検討が必要であることと合わせ、現在、市立中学校においてプールがない学校が6校、武道場がない学校が13校あるなどの教育環境の不公平感を指摘。不足する教育施設への対応と老朽化施設への改築に関する対応をそれぞれ伺いました。

A 長期保全計画では、これまで建築後45年程度で建て替えを行ってきた学校施設を、適切な改修により目標耐用年数の80年まで長寿命化を図る取組である為、ご指摘の通り再び改築の時期を迎え、事業の集中が想定される。事業の集中を避け、財政支出の平準化を図るために、改築の時期については再度検討し、計画的に取り組んでまいりたいと考えている。

また、今後の人口統計、児童数などを鑑み、武道場やプールについても教育環境として必要だという認識をしているので、学校施設のコンパクト化に併せて、設置に向けた検討をしていく。（※一部抜粋要約）

市道横浜生田線（水沢工区）



3 都市農業振興施策について

Q 以下3点について質問を実施致しました。
①昨年4月に成立した都市農業振興基本法等と、この度、本市で策定される予定の農業振興計画の関連性について

②都市農業に力を入れている近隣政令指定都市と川崎市の農業関連予算の比較。また、本市の「みどり」を構成している「公園緑地」「山林」「農地」それぞれの面積と予算について
③災害時に農地を一時避難所として活用する防災農地登録制度の周知、拡大について

都市農業振興基本法等と、今まで本市が続けてきた農業政策と連続性ある計画となっている点を確認し、同時に、近隣他都市と比較した際、横浜市等との予算とは約4倍近くの差があることや、本市農政予算の内、多くが人件費であり実際の農業施策に使える予算の少なさを指摘。また、防災農地などを含め都市農業の多面的な機能を広く市民に積極的な広報を行うことは農住共生の一歩となると強調した上で、市には現在の市内農家の現状をしっかりと把握し、次世代にとって魅力ある農業の実現を目指すよう訴えました。

A ①については、11月に提出した川崎都市農業振興計画（案）は、国で成立した都市農業振興基本法や、神奈川県で策定されている指針などに則り、作成をしている。今後、国で策定される予定となっている都市農業振興計画においても、内容を鑑み、適切に市の計画に反映をしていかたいと考えている。

②については、平成27年度における横浜市の農林関係予算額は、約8億5,900万円。相模原市は約8億6,500万円。千葉市が約15億3,700万円。さいたま市が約14億5,300万円。川崎市が約2億3,000万円となっている。平成27年3月時点でのそれらの面積及び予算額は、表1のとおりとなる。また、本市農政関連予算のうち、「かわさきそだち」をPRするための地産地消推進事業予算は約90万円のみとなっている。

③については、防災農地は、震災時に一時避難所や仮設住宅建設用地・復旧資材置場などに活用できることに加え、大規模火災時の延焼防止の役割なども有しており、本市における貴重なオープンスペースとして認識をしている。現在登録されている防災農地は75.9ヘクタールのうち、9割以上が市街化区域内農地となっているため、農地の大幅な減少については、結果として災害リスクが高まる可能性があると考えている。都市農業における多面的機能の一つに防災があり、重要性は理解しているので、様々な形で広く農業に対する市民意識が高まるよう本計画内で施策を推進していく。（※一部抜粋要約）

表1 川崎のみどりの面積とそれらの予算額

公園緑地	735ha	21億1,500万円
山林原野	447ha	5億7,500万円
農地（農政）	588ha	2億3,000万円

参考



日々、どういった活動をしているの？

矢沢たかおの日々の活動

2015/2016
12月 ▶ 2月



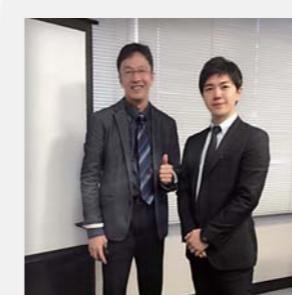
菅生神社どんど焼き



定例会に向けた準備



委員会での請願審査



イクボス勉強会!!NPO法人
ファザーリング・ジャパン理事
川島高之講師



学生と一緒にかながわ
自民党学生部第40回
勉強会に参加



駅へ向かう道に関する
陳情対応

矢沢たかおの
理念・政策・公約 や 日々の活動
詳しくはホームページから

矢沢たかお 検索
<http://www.yazawa-t.jp>
twitter facebook

川崎

主な議会スケジュール

・ 第5回定期例会
(11/26~12/21)

12月 ・ 各種委員会
・ 農業委員会

・ 委員会視察
・ 農業委員会

・ 第1回定期例会
(2/15~)

2月 ・ 各種委員会
・ 農業委員会

・ 第1回定期例会
(~3/18)

3月 ・ 予算審査
・ 特別委員会
・ 各種委員会
・ 農業委員会

かわさき市議会を見よう！
インターネット議会中継

生中継のかわさき市議会を見る事が出来ます。更にライブラリーより過去の中継もみることができます。

川崎市議会 検索

第5回川崎市議会 定例会のご報告

平成27年11月26日(木)～12月21日(月)の期間にて第5回川崎市議会定例会が開催されました。今回の定例会においては、「議案第161号川崎市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について」、「議案第171号川崎市中小企業活性化のための成長戦略に関する条例の制定について」等を含む計52本の議案審査が行われました。また、「新たな総合計画」第1期実施計画素案、「今後の財政運営の基本的な考え方(素案)」、「行財政改革に関する計画素案」、「区役所改革の基本方針素案」等が公表され、併せて審議されることになりました。

行政水準の維持向上か納税者の負担抑制か、問われる市長の手腕

＜行財政改革に関する計画素案について＞ 財政的な目標効果額の明示した上で年度ごとに検証を－

必要な量的改革は推進しながらも質的改革へ手法の転換を図るとされた今後の行財政改革においてわが党は客観的な評価指標を求めて参りましたが、このたびの素案の中では市民満足度の向上が目標に据えられました。当面の目標年度となる平成29年度における目標値が平成27年度の実績値「以上」とされている内容からは断固たる決意を以て改革に臨む市の覚悟が伝わって来ません。目標年次を明確に示すとともに財政的な効果が見込めるものについてはその目標効果額を明示した上で年度ごとにその成果を

＜妊産婦歯科検診の早期実現を迫る＞

かねてより口腔衛生の必要性を訴えるとともに各種歯科検診事業(休日・高齢者・障害者)の拡充と妊産婦歯科検診の実現を市に求めて参りました。とりわけ妊産婦歯科検診については本年度から岡山市で実施されたことに伴い、政令市における未実施は本市のみとなっています。実現に向けた障壁を取り除くとともに改めて市に対して早期実施を求めました。



＜市長への予算要望について＞

来年度の予算編成に向けて自由民主党川崎市議会議員団として市長に要望活動を行いました。今回の要望では地域包括ケアシステムや地域医療連携等を盛り込むほか、多摩川サイクリングロードの整備や等々力緑地内高度処理施設上部の早期開放等の地元要望についても市に対応を求めました。

●昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる(30歳) ●川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業・法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部コンピュータ科学科 卒業 ●平成20年4月 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 入社・平成26年7月 政治活動に専念するため同社を退社・自由民主党公認 宮前区市政政策委員・平成27年4月 川崎市議会選挙(宮前区) 初当選・健康福祉委員会・農業委員会委員 ●剣道四段、空手二段、書道・毛筆三段 硬筆二段



矢沢
たか
お
ル

「新たな総合計画」第1期実施計画素案 「議案第176号川崎市基本構想について」 「議案第177号川崎市基本計画について」

平成27年夏に公表された「新たな総合計画素案」に対して寄せられた様々な意見をもとに検討が重ねられた結果、このたび、平成29年度迄を計画期間とする具体的な取組を含む「新たな総合計画」第1期実施計画素案がまとめられました。今回の実施計画の中では「かわさき10年戦略」を設定し、中長期的・重点的な取組が明確化されたほか、「政策体系別計画」「区計画」における2年間の具体的な取組が明らかとなりました。また、実施計画の上位概念に相当する基本構想及び基本計画については今定例会に議案として上程され審議が行われましたので、その主な内容を以下に紹介致します。

1 信頼される市立病院の運営

医療機能の再編と医師・看護師等の確保が急務－

民間に出来るものは民間に、との民間参入不採算部門を担わざるを得ない宿命を背負いつつ、赤字部門の整理を求められるという二律背反的な壁を克服する為の創意工夫が求められています。その一つに自治体病院があり、地域医療の中核として公立病院に課せられた役割は大きい一方で、大半の自治体病院が慢性的な赤字状態にあることは厳しい視線が向けられています。このたびの計画では計画期間内における市立3病院の主な取組が示されていますが、年度内に策定が予定されている新公立病院改革プランとの整合性や一般会計からの繰入金の縮減に向けた取組、医療機能の再編と医師・看護師等の確保についての方向性等について質問致しました。

2 国民健康保険制度の安定的な運用

保険料の収納率は改善するも未だ多額の繰入金が－

わが国の医療保険制度の一翼を担う国民健康保険制度については本市を含む各自治体が保険者となります。被保険者の年齢や所得階層等に偏りが見られることから慢性的な赤字が生まれやすく、保険料の未収分は一般会計からの繰入金により穴埋めがされています。本市においても年々収納率の改善は図られてきたものの、会計の規模が規模だけに額は決して小さいものではありません。一般会計からの繰入金の中でも赤字補填的な法定外繰入に対する対応や不正受給、架空請求などへの対応、また、平成30年度以降はその運営が都道府県単位化されることによる本市への影響等について質問を致しました。

3 誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整備

更なる需要への対応と市営住宅の有効活用を求める－

市営住宅についてはそのストック活用事業として地域包括ケアシステムと連携した市営住宅活用が新たに計画に盛り込まれることになりましたが、その具体的な内容について質問を致しました。また、一方では未だ高倍率の抽選が続いていることに対して希望の方々の不満が募っていますが、受益と負担の適正化の観点から利用料の見直しと更なる需要への対応について質問を致しました。



4 本市のイメージ向上に向けた戦略的な広報戦略

従来の広報戦略から発想の転換が必要－

刻一刻と変化する今日においてタイムリー且つ双方向のニーズ調査は時代の要請であり、多様化する情報媒体に対応しつつ、市民ニーズを多面的に調査して市政運営や政策立案に反映させていくことが求められています。本市ではこれまでかわさき市民アンケートにより市民ニーズの把握に努めて参りましたが、今後の方向性について質問を致しました。また、一方ではセルフイメージ、セルフプロデュースが重視される時代においては市外からのイメージと市民が抱くイメージの複眼的視点から本市のイメージ向上に結び付くような戦略的な情報発信が求められています。市長が目指すイメージと広報戦略について質問を致しました。

しっかり聞く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください！

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山1-20-12

電話 044-976-2727

FAX 044-976-8686

mail takao.y4208@gmail.com

矢沢たかお 検索
<http://www.yazawa-t.jp/>
[twitter](#) [facebook](#)

